

平成27年度に実施した

# デング熱対策についてご報告します

蚊のウイルス保有調査とデング熱予防について普及啓発を強化しました。



## 江戸川区

- 感染症媒介蚊対策連絡会議（5月）
- 普及啓発（6月～）
  - ・都に合わせ、広報、ホームページ、町会等への普及啓発を実施。
  - ・仏教会を通じて墓地にチラシを配布。
- 感染症媒介蚊サーベイランス
  - ・小岩健康サポートセンター
  - ・行船公園

## 東京都

- デング熱媒介蚊サーベイランス
  - ・都立公園9か所（葛西臨海公園を含む）
  - ・上記9か所以外の都内16公園
- 蚊の発生防止強化月間（6月）
  - ・広報、講演会、ラッピングバスなどでの普及啓発を実施。
- 「東京都蚊媒介感染症対策行動計画」の策定

## 感染症媒介蚊等のサーベイランス結果

今年度のサーベイランスではデング熱ウイルスは検出されませんでした。



江戸川区	東京都
小岩健康サポートセンター 成虫（全5回） ウイルス未検出	都立公園9か所（葛西臨海公園を含む） 成虫（全14回） ウイルス未検出 幼虫（全4回） ウイルス未検出
行船公園 成虫（全4回） ウイルス未検出	上記9か所以外の都内16公園 成虫（全10回） ウイルス未検出

## 都内デング熱届出状況

国内感染は確認されず、輸入例85件の届出がありました。  
（平成27年12月13日現在）  
届出の8割が東南アジアへの渡航歴でした。

	江戸川区（国内例）	東京都（国内例）
2015年	0（0）	85（0）
2014年	3（3）	163（108）
2013年	0（0）	66（0）

**国内感染は確認されませんでした。輸入例は前年度を上回っています。引き続き、デング熱対策に取り組んでいきましょう！**

# 3つのポイントでデング熱対策を！

## 1 発生を防ぐ

### 蚊の発生防止は幼虫から！

蚊の成虫は飛翔するため、防除が難しくなります。また、殺虫剤を使った成虫の駆除は一時的な効果しかありません。蚊の幼虫（ボウフラ）の発生しない環境を作ることが最も有効な対策です。

### 幼虫（ボウフラ）対策

#### 不要な水たまりをなくしましょう

蚊はほんの小さな水たまりに卵を産み付けます。ボウフラは水がなければ生きていけません。ボウフラを発生させないために、発生源の水たまりをなくしましょう。

### こんなところが蚊の発生源です

- 放置された空缶など → 放置された空缶、空びんなどは撤去しましょう
- 植木鉢の受け皿 → 受け皿の水は捨てるか、まめに入れ換えましょう
- 雨除けのシート → たるみ、くぼみができないようにしましょう
- 側溝 → つまった側溝や雨どいなどは清掃しましょう
- ペットの飲み水容器 → まめに洗い、水を取り替えましょう
- 散水用の汲み置き水 → 雨水をためたらすぐ使うかフタをしましょう



## 2 侵入を防ぐ

### 屋内への侵入を防ぐ

- ・網戸を設置し、蚊取り線香などの利用を。
- ・玄関の扉や窓の開閉は素早く行いましょう。

### 草刈も効果的

- ・蚊のすみかとなる家のまわりの雑草などを刈り、樹木の剪定をして風通しをよくすることも効果的です。



## 3 刺されない対策

### 外出時は蚊に刺されない対策を

- ・蚊が多いところへ出かけるときには、長袖、長ズボンを着用し、できるだけ肌の露出を避けましょう。
- ・必要に応じて虫よけを利用する方法もあります。

